

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p><b>1 藻を用いた新エネルギー研究への対応について</b></p> <p>藻を用いた新しいエネルギーの研究については、先日の総務財政委員会でも質問させていただいたが、さらに確認すると、様々なところで研究されているようである。</p> <p>発見したのは、筑波大学の先生であるが、それを活用して、地元の神戸大学においても I H I と連携してすでに研究に取り組まれているとのことである。また、三井物産も、石油に代わるエネルギーとして、研究に取り組まれているようである。</p> <p>これが計画とおりにすすめば、自動車のガソリンは 1 リットル 50 円以下になり、日本が石油の輸入国から輸出国になる、と言われており、大きなインパクトがある。</p> <p>そこで、市としても市内外の大学等と連携しながら、他都市に先駆けて研究生産施設の誘致や研究支援を行うなど施策を展開すべきである。</p> <p>その際には、大学連携室を持つ企画調整局が、他局に働きかけるなど先導的な役割を果たしていただきたいと考えるが、見解を伺いたい。</p> <p><b>(意見)</b></p> <p>東北で研究をされていることは承知している。他都市がやっていることの後追いではいけない。神戸市の場合では休耕田を活用してはどうか。</p> <p>大学連携室で大学と連携した取り組みを進めていただきたい。</p>	<p>加藤部長</p>	<p>オーランチオキトリウムによる石油の生産については、総務財政委員会における委員のご紹介を踏まえ、改めて調べさせていただいた。確かに生産性が高く、重油に匹敵する採算性が見込まれるとされている。一方、実用化にあたっては、必要な栄養素を安定して供給する必要があること、オイルの抽出にあたって、多くのエネルギーが必要となること、などの課題も多いと指摘されている。</p> <p>あわせて、関係局にも話をしてきたが、現在、筑波大学と東北大学が仙台市と基本協定をまき、被災した下水処理施設を活用して、実証実験ができないかと検討されているとのことである。仙台市に問い合わせたところ、確かに協議中であるが実証実験には相当の年数が必要であろうとのことであり、この件については、推移を注視していきたいと考えている。</p> <p>神戸大学の研究の件については。新聞報道などでしか把握ができていないが、「榎本藻」という違う種類のようなものである。川崎市内のベンチャー企業とともに研究をしているようであるので、あわせて話を聞いてみたいと考えている。</p> <p>「大学連携室」としては、大学と意見交換を行いながら、庁内各局との橋渡し、調整を行っていく中で、研究の成熟度等も考慮しながら、神戸の発展に寄与できないかという視点を持って取り組んでまいりたい。</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p><b>2 瀬戸内クルーズについて</b></p> <p>瀬戸内クルーズを世界のクルーズに定着させる努力をすべきである。地中海クルーズ、カリブ海クルーズ、エーゲ海クルーズなどは、その地域に行けばぜひ乗ってみたいと思う。瀬戸内クルーズもこのような世界ブランドまで成長させるべきである。</p> <p>現在、神戸運輸監理部を中心に国土交通省の 5 つの部局でやろうとしているが、これをやらない手はない。</p> <p>平常時には観光船としてクルーズに利用して、非常時には救援用の船として使う、という使い分けをすれば、素晴らしいものになる。</p> <p>また、国土交通省のように現代の高速船を用いたクルーズでも十分楽しんでいただけるが、究極としては、清盛が当時使っていた木造の日宋貿易船を再現するべきであると考えますが、見解を伺いたい。</p> <p><b>(意見)</b> 清盛の乗ったクルーズ船を神戸市に作れと言っているわけではない。神</p>	<p>局 長</p>	<p>以前より委員から、常任委員会で「北前船」の話から清盛にちなんだ瀬戸内クルーズをしてはどうか、とのご提案があった。それが実現したのが、現在、国において予定されている、神戸運輸監理部をはじめ瀬戸内海エリアの近畿、中国、四国、九州運輸局の五部局で構成されている『「平清盛」瀬戸内連携推進会議』と連携した瀬戸内クルーズの振興だと思ふ。</p> <p>既に、推進会議では、瀬戸内クルーズの魅力の発信事業の一環として、3月23、24日に神戸ー広島間を相互に結ぶ1泊2日のモニターツアーを計画している。神戸発着と広島発着の2コースを設定し、今回は「日宋貿易船」ではないが、瀬戸内海汽船の高速船「はやしお」で、鞆の浦やしまなみ街道、大河ドラマの海上ロケ地、厳島神社を観光する計画である。</p> <p>ツアー実施後は、意見やニーズ、改善点等を抽出して、これをタネとして、大きなクルーズに発展していきたい、と聞いている。</p> <p>ただ、「日宋貿易船」のような木造船を行政が主導する形で、クルーズができる自走可能な船舶として建造、航行するには、コスト面、安全面、維持管理面等からも課題があり、民間が主となり検討すべき事業ではないかと考える。</p> <p>現に、神戸港で南京町の春節祭などの際に、チャーター便として活用されていた木造船「明代宝船鄭和」は民間企業により建造・運航されていた。</p> <p>旧来よりご指摘いただいているように、「平清盛」による観光振興は、極めて重要なテーマであり、民間事業者、国、県、他都市とも連携しつつ、産業振興局、みなと総局と連携して、全庁一丸となって取り組んでまいりたい。</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>戸市が民間に呼びかけて音頭をとっていただきたい、ということである。「平清盛」が以前の「風見鳥」のように息の長いドラマになったらいいと思う。</p>		